

09年度精密機械工学実験B(後期)日程表

テーマ	実験室	担当教員	月 火	9月		10月					11月			12月			
				21	28	5	12	19	26		16	23	30	7	14	21	
					29	6	13	20	27	10	17	24	1	8	15	22	
画像処理の基礎	2305	梅田		全体 ガイ ダンス (5 3 3 4 室)	1班	2	3	4	5	工場 見学 (4 年 生 以 上 を 含 む)	6	7	8	9	最終 レポ ート 提出 日	予 備 日	
音響解析	2302	戸井			9	1	2	3	4		5	6	7	8			
倒立振り子	2406	大隅			8	9	1	2	3		4	5	6	7			
RCC機構	2405	村奈嘉			7	8	9	1	2		3	4	5	6			
応力測定	2406	寺岡			6	7	8	9	1		2	3	4	5			
金属材料	2141	高橋			5	6	7	8	9		1	2	3	4			
鋼の顕微鏡組織	2141	金澤			4	5	6	7	8		9	1	2	3			
風洞	4102	中山			3	4	5	6	7		8	9	1	2			
円柱棒状フィン	2540	松本			2	3	4	5	6		7	8	9	1			
工場見学		全担当教員															

- 注意) 1. レポート提出先：先週実験した教室，3時限（集合は13時），但し，変更される場合もある。
2. 実験時間：4・5時限 但し，9/28(月)，9/29(火)は3・4時限。
3. 工場見学(4年生以上を含む全員参加)のレポート(見学内容・各自が工場で質問した内容とその回答及び感想)はA4用紙1枚に簡潔にまとめて，翌週の月・火曜日に2326室に設置してあるレポート回収箱に各見学先ごとに12:00-12:50の間に必ず提出すること(時間厳守)。 但し，月曜日に実験を行っている学生は月曜日，火曜日に実験を行っている学生は火曜日にそれぞれ提出すること。

注意事項

1. 出欠：実験中に出欠を取る。やもえない理由で実験を休んだ場合は，実験担当教員と相談し，他の曜日において再受講すること。 なお，病気で欠席する場合は，必ず病院の診断書を提出すること。 但し，最後の週の実験は再受講が出来ないので注意すること。
2. 実験の流れ：『①テキストによる予習→②実験実施→③レポート提出(翌週)』のループを繰り返す。
3. レポート：
 - 1) 1人1通提出(A4を使用)。第1ページ目は，配布の“実験表紙”を必ず使用すること。
 - 2) レポートを書く前に，テキストの「実験の心得」及び「測定データの取り扱い」の所を良く読む。
 - 3) 提出日は実験実施日の翌週。但しその日が休講，休日あるいは工場見学の場合はそのつぎの授業日とする。
不明確な場合は担当教員に確認し，自己の判断で決めない。
 - 4) 提出のとき，担当教員より“精密機械工学実験”裏表紙のレポート受理表に検印をもらう。代理や郵送による提出は認められない。
 - 5) 正当な理由がなく提出期限に遅れた場合は未提出となるので十分注意すること。内容が不備の場合は再提出となる。
 - 6) 実験不合格：1テーマでもレポート未提出あるいは実験無断欠席の場合は不合格となる。
4. 実験衣，名札：1) 実験中の上着は「作業衣」を着用する。「白衣は禁止」
2) 実験Aで「配布された名札」を左胸ポケットに必ず付ける。
名札には学籍番号，名前を楷書(黒字)で書く。
5. 退出：実験終了後は機械や器具を元通りに整理整頓し指導員の許可を得て退出すること。
6. 掲示：実験Bに関する事項は，精密事務室横(2号館3階)の掲示板に掲示。

1 2 3

姓 名